

## フォアグラ生産は世界中で禁止へ・・・

多くの国、地域がフォアグラを生産するための強制食餌を施すことを、動物福祉法等で禁止している。(強制給餌が禁止ということは実質上フォアグラの生産が禁止ということ)

### 強制食餌を禁じている国/州

インド(輸入販売含め禁止)

ブラジルサンパウロ(販売含め禁止)

米国 カリフォルニア

オーストリア(9州の内6州)

チェコ共和国(1992年)

デンマーク(1991年)

フィンランド(1996年)

ドイツ(1936年と1993年)

イタリア(2004年)

ルクセンブルク(1965年)

ノルウェー(1974年)

ポーランド(1999年)

トルコ

オランダ

イスラエル

スウェーデン

スイス

イギリス

アイルランド

アルゼンチン

ブリュッセル市(2017年)

ベルギー フランドル

### フォアグラをメニューから

排除した店舗・施設

Amazon UK

ASDA(スーパーマーケット)

FDB Supermarkets

Marks and Spencer

Harvey Nichols

Selfridges

Fortnum & Mason

Sainsbury's

Morrisons

Table Bay Hotel

デンマークのスーパー

英国の王室

スカンジナビア航空

KLMオランダ航空

エア・カナダ

デルタ航空

ユナイテッド航空

アメリカン航空

ニュージーランド航空

など

一日も早い全廃のために  
あなたにできること

## ▶ フォアグラを食べない

▶ 結婚式でフォアグラを食べないことを  
事前に主催者に伝える

招待状に「フォアグラは食べられない」と書いて返送すれば  
どの会場でもすぐに対応してくれます

▶ フォアグラがメニューにある店に抗議

▶ お店の店員にこのチラシを渡す

▶ チラシを配る (チラシは無料です)

▶ 知人にフォアグラの生産方法の説明をする

▶ フォアグラ生産方法の動画をシェアする

▶ アニマルライツセンターの活動に参加する

詳しい情報は、

動画も配信中!

<http://www.no-foiegras.com>



# NO f o i e g r a s フォアグラ



フォアグラは  
ガチョウとアヒルを  
虐待して作られた  
病気の肝臓

フォアグラは、食べないでください。

[www.HopeForAnimals.org](http://www.HopeForAnimals.org)

## 動物を守るための活動を支援してください

※2,000円以上のご寄付は寄付控除の対象になります

▶ 郵便振替 00110-7-127583

▶ ゆうちょ銀行 0-九店 当座 0127583

▶ 三菱東UFJ銀行 渋谷中央支店 普通 5968916

▶ カード払い <http://www.arcj.org/donate/card/>

▶ スマホから  ソフトバンクを  
お使いの方  それ以外の  
携帯電話の方

認定NPO動法人アニマルライツセンター

東京都渋谷区宇田川町12-3ニュー渋谷コーポラス1009

03-3770-0720 (ご連絡はメールでお願いします)

<http://www.arcj.org> ・ [animalrights@arcj.org](mailto:animalrights@arcj.org)

# フォアグラの生産方法、知っていますか？

## 雌雄鑑別

フォアグラにされるのはオスの水鳥。メスの肝臓はフォアグラに適していないため、卵から孵ってすぐに生きたままミンチにされたり、窒息させられ、廃棄される。



## 成長期

81日以上普通に過ごすことで、強制給餌による過酷な肝臓肥大に耐えられるよう、体力をつけさせられる。



↑鳥の足元

↓隙間に落ち死亡している鳥

## 監禁/肥育

成長期が終わるとケージやオリに入れられ、強制給餌が始まる。身体を固定され、首をつかまれ、エサを流し込まれる。



## 強制給餌

強制給餌（ガバージュ）期間は最低でも12日以上で、長いほうがよいとされ、3週間から4週間行われる施設が多い。エサはとうもろこしと油性混合物。ガチョウの場合は1日3回、アヒルの場合は1日2回強制給餌が行われる。毎日与えるエサの量は増加されていく。



## 強制給餌の方法

手で鳥の頭とくちばしを掴み、口をあけさせる

50cmの長さの鉄パイプを鳥の口に突き刺す

彼らの体の1/4～1/3もの量のとうもろこしの粉と油の混合物を胃に押し込む

鉄パイプを引き抜く

胃は痙攣するが、吐き出せない状態で嗚咽を繰り返す

この工程が一日2～3回、3～4週間毎日続けられる

## 鳥の状態

2～4週間で、彼らの肝臓は通常サイズの10倍に膨れあがる。肝臓が気嚢（鳥の呼吸器官）などを圧迫し呼吸困難を起こし、息をすることが難しくなる。

通常の羽づくろいはもとより、水を飲む行為すらできなくなる。もはや自分自身すら支えることができなくなる。翼を使ってもがき苦しんでいる姿が観察される。もがくと、飛節(脚)と竜骨(胸部)の腫んだ傷や床ずれを悪化させる。肝臓機能は著しく低下。医学的には、肝リポドーシスや肝臓脂肪変性と呼ばれる機能不全の状態。

※血液から毒素を一掃するための肝臓が機能なくなると、体中に異常が起きる。

検死では、肥大した肝臓、引き裂かれた器官、食道炎、肺炎、喉と食道に残ったコーン、口内のバクテリアと菌の増殖、趾瘤症でたれた足で苦しんでいたことがわかった。

さらに、鳥を首を折って殺す飼育業者がしばしば撮影されている。

最後は、喉を切り裂いて殺し、**病気の肝臓**を取り出す。それが「**フォアグラ**」。

